

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岩手県 矢巾町

自治体名：岩手県矢巾町

担当課名：教育委員会事務局文化スポーツ課

電話番号：019-611-2862

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	67.32km ²
人口	26,314人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	699 人
部活動数	23 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

当町は公立中学校が2校あり運動部、文化部と23種類の部がそれぞれの学校で活動している。少子化に伴い部員の数に達せず休部してしまった部活や活動したい部活動が無い場合、郊外活動としてクラブチームで活動している生徒もいる。

現状のクラブ活動を維持するためには受け皿となる団体の整備と指導者の確保が課題となっている。

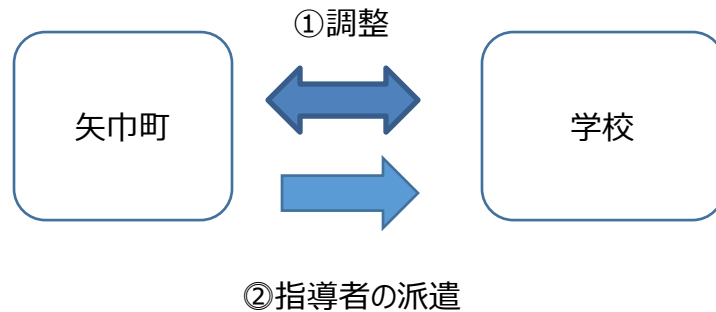
	矢中		北中	
	男	女	男	女
陸上	×	×	○	○
ソフトテニス	○	○	○	○
野球	○	×	○	×
バレーボール	○	×	○	○
バスケットボール	○	○	○	○
バトミントン	○	○	○	○
ハンドボール	○	○	○	○
ソフトボール	×	×	×	○
卓球	○	○	○	
柔道	○	○	○	○
剣道	○	○	×	×
吹奏楽	○	○	○	○
文芸	○	○	○	○
特設合唱	×	×	○	○
郊外活動	○	○	○	○

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）

- ①矢巾町が学校と調整
- ②矢巾町が学校へ指導者を派遣



●行政組織内での役割分担

◎学校教育課

- ・学校、生徒、保護者との調整
- ・矢巾町部活動地域移行推進協議会の庶務

◎文化スポーツ課

- ・矢巾町体育協会等との連携
- ・外部指導者との調整

年間の事業スケジュール

令和6年8月	各学校の聞き取り調査
令和6年9月	各学校の部活動顧問への聞き取り調査
令和6年12月	第1回矢巾町部活動地域移行推進協議会
令和7年1月～	外部指導者の確保 試験的な指導の開始

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

今年度は、指導者を1名確保し試験的に1校の休日の部活動の指導をお願いしているもので、移行までには至っていない。

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
ハンドボールクラブ	矢巾町教育委員会	ハンドボール	4回	主にPM	20名程	1月	矢巾北中学校他	1人	2人 （内、兼務1人）	なし	

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

2.実証内容と成果

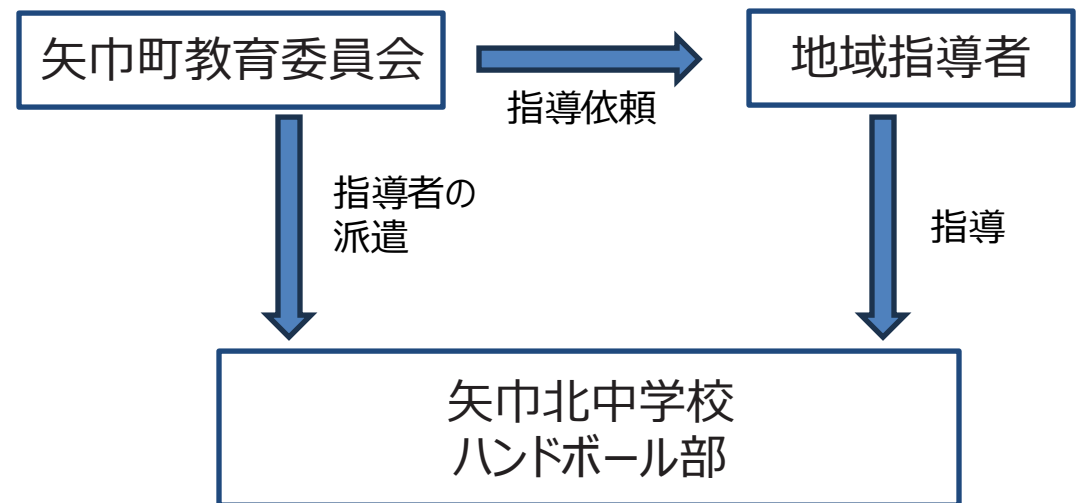
主な取組例

●活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ハンドボール
運営団体名	矢巾北中学校ハンドボールクラブ
期間と日数	1月12日～1月26日 4回程度
指導者の主な属性	地域の指導者
活動場所	中学校体育館等
主な移動手段	保護者による送迎、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	既存の部活動で加入の保険を活用

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）

- ・ 休日の部活動へ地域指導者の派遣を行う



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・中学校校長、PTA代表、町体育協会長、芸術文化協会長、総合型スポーツクラブ会長、スポーツ少年団代表、知識経験者、の方々を委員として協議会を設置することができた。
- ・競技関係者を通じて指導者を委嘱し、試験的ではあるが部活動の指導をお願いした。

取組の成果

- ・関係団体から地域指導者の情報を得て、協力依頼を行うことができた。

今後の課題と対応方針

- ・移行に伴う指導員の確保、運営に必要な資金の確保、保護者の費用負担等の条件の整備や合意形成に時間がかかることが想定される。
- ・今後、協議会で部活動推進計画の策定を行い、具体的な取り組み方針やスケジュールを町民等関係者に周知し理解と協力を図っていく。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

○人材の発掘・マッチング・配置に関する取組

・体育協会、総合型地域クラブを通して専門の知識・技能を有する指導者を確保する。

○取組の成果

・ハンドボールのB級審判の資格を持つ指導者をハンドボール協会を通して1名紹介いただき、専門的な指導者を配置することができた。

・体育協会が実施するスポーツ指導者を対象とした研修課に参加し、ハラスメントに関する知識の習得など指導者の質の向上が図られた。

今後の課題と対応方針

・種目により指導者の確保が難しい部活動もあることから、町の体育協会や各種競技団体の協力を得ながら指導者の確保に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・町の体育協会、総合型地域スポーツクラブへ声掛けを行い、受け皿となる団体の確保、指導者の確保に取り組んだ。

取組の成果

・12月に設置した協議会において、スポーツ・文化芸術関係期間、学校関係者と情報共有を図ることができた。

今後の課題と対応方針

・受け皿となる団体の確保に向けて、学校、関係団体と調整を図りながら、運営団体等について検討し、移行に係る課題と対策を整理していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

参加費は無料とし講師の謝金を町で負担。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

当町の学校部活動については、2校ある中学校で、運動部、文化部で23種類の部が活動を行っている。

今年度の取組として、協議会の設置を行い部活動の地域展開に関する協議を行った。

また、1校の中学校の部活動（ハンドボール部）にて、地域指導員を派遣して休日の部活動の指導を行った。

●成果の評価

協議会を設置したことにより、学校、保護者、スポーツ、芸術団体の方々での意見交換により地域展開に係る問題や課題等認識することができた。

1校の部活動に対してではあるが、試験的に休日の部活動に地域指導員を派遣して、部活動顧問の負担軽減を図ることができた。

●今後に向けて

今年度の取組では地域展開まで進むことができなかったが、協議会の意見を聞きながら、課題としている内容（指導者の確保、資金の確保等）について段階的に取り組んでいく。

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

関係者への
ヒアリング

部活動地域移行
推進協議会
設置

令和7年

推進計画の策
定

練習会等の開
催

令和8年

地域クラブ活動
の開始

【関係者へのヒアリング】

・学校長、部活動顧問から現場の聞き取り調査を行った。

【部活動地域移行推進協議会】

第1回（12月）

- ①委員委嘱
 - ②国・県の方針、協議会委員の説明
- ※年度内に第2回協議会を開催し、推進計画の策定に向けた検討を行う

【指導者の派遣】

- ①指導者の委嘱（任期1月～3月）
- ②1校の1部活の指導員として試験的に派遣を行う

【協議会の開催】

・令和7年度は3回開催予定
①第1回は5月

【活動練習会の開催】

- ①休日の練習会参加の募集
- ②練習開始
- ③アンケートの実施

【学校・生徒・保護者・関係団体との調整】

- ①移行に向けた説明、調整

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

